24 大内宿・湯野上温泉（福島県下郷町）

注目 ポイント ！

○ 衣食住を含めた大内宿の文化が活かされた観光地へ。
○ アスファルト舗装の撤去など、宿場町としての風情を再生。
○ お互いに労働力を貸し借りする「結い」という暮らしの知恵による観光振興。

観光客数が約2万人から約80万人に！
（昭和60年） （平成17年）

茅葺き屋根が並ぶ大内宿の風景

◇◇ コラム ◇◇

大内宿結いの会は、茅葺き屋根をふく技術の継承や地域おこしなどを目指して結成し、大内宿保存会への協力を行っている。現在は「面倒くさいことをやっぺ」を念頭に、大内地区を流れる小野川の清掃など、様々なイベントや地域づくりの活動を実施する。吉村氏は「面倒なことをやるには多くの人の協力が必要だが、その中で地域のコミュニティができていくのです」と語る。

大内宿結いの会
顧問 吉村 徳男氏

これまでの経緯

昭和５６年（１９８１）	大内宿が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される。
平成 ４年（１９９２）	第1回「美しい日本のむら景観コンテスト」の文化部門で、農林水産大臣賞を受賞する。
平成 ５年（１９９３）	「下郷町大内宿防災会」が結成される。
平成 ８年（１９９６）～ 平成１２年（２０００）	江戸時代の道の復元など、周辺の景観と調和した整備を実施する。
平成１０年（１９９８）	大内宿結いの会が結成される。
平成１０年（１９９８）	参勤交代で使われた下野街道を歩く「下野街道ファミリーウォーク」が開催される。
平成１１年（１９９９）	「文化財（大内宿）を守る自主防災活動」が第4回「防災まちづくり大賞」の(財)消防科学総合センター理事長賞を受賞する。
平成１７年（２００５）	大内宿が手づくり郷土賞（大賞部門）を受賞する。

※当該地域は「わたしの旅１００選」（平成１７年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

茅葺き屋根の葺き替え

会津街道の宿場町として栄えた大内宿には30余の茅葺き民家が立ち並ぶ。昭和56年に重要伝統的建造物群保存地区に選ばれ、住民からなる大内宿保存会を組織。保存会が中心となって大内宿の景観を守りながら、祭りや伝統行事などを継続。

平成10年には、地区の青年達が屋根葺きの技術の継承を目的に「大内宿結いの会」を結成。年に数件の屋根を村中の人が総出で葺き替えを実施。

結いによる茅葺き屋根の葺き替え

昔の風情を醸し出す土の街道と茅葺き屋根

アスファルトを撤去して街道を復元

日本の原風景である茅葺きと土の道の風情を後世に残そうと、一度舗装されていたアスファルトを撤去し、大内宿の中央通りを昔の街道風に復元。土の道特有の優しさ、やすらぎを創出。埃を防ぐため水路の水を使った水撒きを行う光景も観光客に好評。

大内宿雪まつり

20年前から、ほとんど客の来ない冬期間を何とかしようと、地元の大内地区などでつくる実行委員会が主催で、町等の後援も受け、大内宿雪まつりを開催。

最初は頑張って雪像をつくっていたが、現在は茅葺屋根との調和がとれた雪灯籠を作り、手作りのお祭りを実施。

夏とは違った趣のある雪まつり

雪灯籠を作成した湯野上地区の方々

湯野上温泉も雪灯籠でお出迎え

大内宿から約6km、江戸時代から会津の奥座敷として人気を集め、湯治場や商人宿として賑わっていた湯野上温泉。南会津方面の観光拠点としても便利で、ここで宿泊し大内宿等の周辺観光へ出かける観光客も多い。また、当温泉で人気を集めているのが“ゆめぐり手形”。温泉民宿が構成する湯野上温泉湯めぐりの会が企画し、手形を利用すれば3ヶ所で入浴可能。手形はこけしの形をしており、使い終わったら手形に無料で絵付けができる。

さらに、4年前から大内宿雪祭りにあわせ、日本で唯一の茅葺き屋根の駅舎をもつ湯野上温泉駅に、大内地区の指導のもと雪灯籠を作って観光客をおもてなし。多くの観光客に好評。

問い合わせ先

○下郷町事業課産業振興班商工観光係
Tel：0241－69－1144　　http://www.town.shimogo.fukushima.jp/